

# 報 民 牧 小 苦

## 精神医療映画に 150人 来場

苦小牧で伊作品上映

「イタリア精神保健改  
革の父」と呼ばれるフラ  
ンコ・バザーリア医師の  
活動を描いたイタリア映  
画「むかしMattoの  
町があった」が1日、苦  
小牧市文化会館で上映さ  
れた。市内外から約15

0人が来場し、精神障害  
者支援の取り組みを追っ  
た作品に見入った。

市内の精神科病院や福  
祉施設など関係機関でつ  
くる上映実行委、バザー  
リア映画を自主上映する  
「180人のMatto  
の会」などの主催。

映画は、社会と隔離さ  
れた入院生活を送る患者  
を目の当たりにしたバザ  
ーリア医師が、苦難に遭  
いながらも精神病院廃止  
を訴え、精神障害を抱え  
る人々を地域で支える活

動を描いた内容。

家族や社会と切り離さ  
れた精神障害者の悲しみ  
を映し出したシーンで  
は、目を潤ませながらス  
クリーンに見入る人も。  
新しい精神保健法を成立  
させたバザーリア医師の  
懸命な努力に感動してい  
た。上映会に訪れた平取  
町の女性は「日ごろから  
日本の精神医療の在り方  
に疑問を感じていた。イ  
タリアの取り組みを学び  
たいと思って足を運びま  
した」と話していた。